

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.5.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.4.26 - 2019.5.31)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} ／保管容量 (割合)	トピックス			
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	5,000	m ³	+900	m ³	①②	95 %	198500 / 252700 (79%)	・フランジタンク解体片 2019年5月末時点でコンテナ951基保管。 エリアP1 コンテナ数：665基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：286基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	62,600	m ³	+100	m ³	①③④	99 %		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400	m ³	0	m ³	—	85 %		
		J	屋外集積	0.01	6,200	m ³	0	m ³	—	78 %		
		N	屋外集積	0.01未満	9,600	m ³	0	m ³	—	96 %		
		O	屋外集積	0.01未満	42,500	m ³	0	m ³	—	83 %		
		P1	屋外集積	0.01未満	51,100	m ³	+300	m ³	①	80 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700	m ³	0	m ³	—	100 %		
		V	屋外集積	0.01	4,800	m ³	0	m ³	—	80 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	9,400	m ³	+400	m ³	①	26 %			
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600	m ³	0	m ³	—	58 %	38200 / 71000 (54%)	・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)
		E1	シート養生	0.02	14,100	m ³	微増	m ³	—	88 %		
		P2	シート養生	0.01	5,600	m ³	微増	m ³	—	62 %		
		W	シート養生	0.03	8,000	m ³	+200	m ³	①⑤	27 %		
		X	シート養生	0.01	7,900	m ³	0	m ³	—	65 %		
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000	m ³	0	m ³	—	100 %	18100 / 31700 (57%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m3）増加。 (2018年5月)
		A	仮設保管設備	0.14	1,000	m ³	0	m ³	—	14 %		
		E2	容器 ^{※4}	0.01未満	500	m ³	微増	m ³	—	26 %		
		F1	容器	0.01未満	600	m ³	0	m ³	—	99 %		
		Q	容器	0.04	0	m ³	-100	m ³	⑥	0 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	16,300	m ³	+500	m ³	⑤⑦	36%	16300 / 45600 (36%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m3）増加。 (2018年2月)
合計（ガレキ）				271,200	m ³	+2,400	m ³	—	68 %			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300	m ³	微増	m ³	—	63 %	96800 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700	m ³	0	m ³	—	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600	m ³	0	m ³	—	88 %		
		V	屋外集積	0.01	100	m ³	0	m ³	—	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	m ³	0	m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)	
		T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	m ³	0	m ³	—	94 %		
合計（伐採木）				134,100	m ³	微増	m ³	—	76 %			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	55,400	m ³	+200	m ³	⑧	81 %	55400 / 68300 (81%)	・使用済保護衣等焼却量 5553t（2019年5月末累積） ・焼却灰（プラスチック含む）のドラム缶数 1346本（2019年5月末累積）	
合計（使用済保護衣等）				55,400	m ³	+200	m ³	—	81 %			

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物 ③敷地造成関連工事 ④5,6号関連工事 ⑤1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑥固体庫9棟へ瓦礫の移動
⑦一時保管エリアQからの移動 ⑧使用済み保護衣等の受入

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

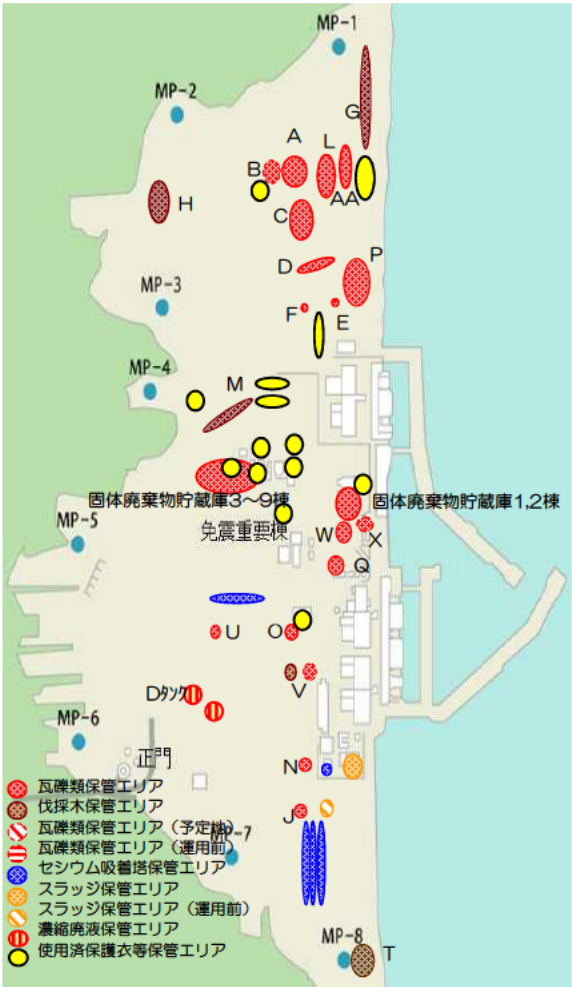
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.6.6時点)

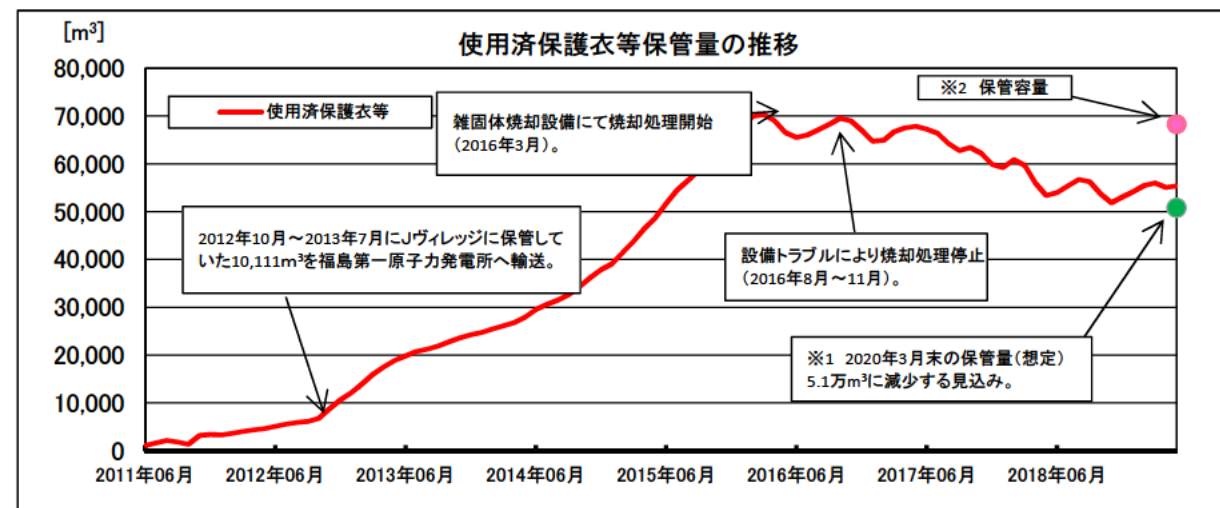
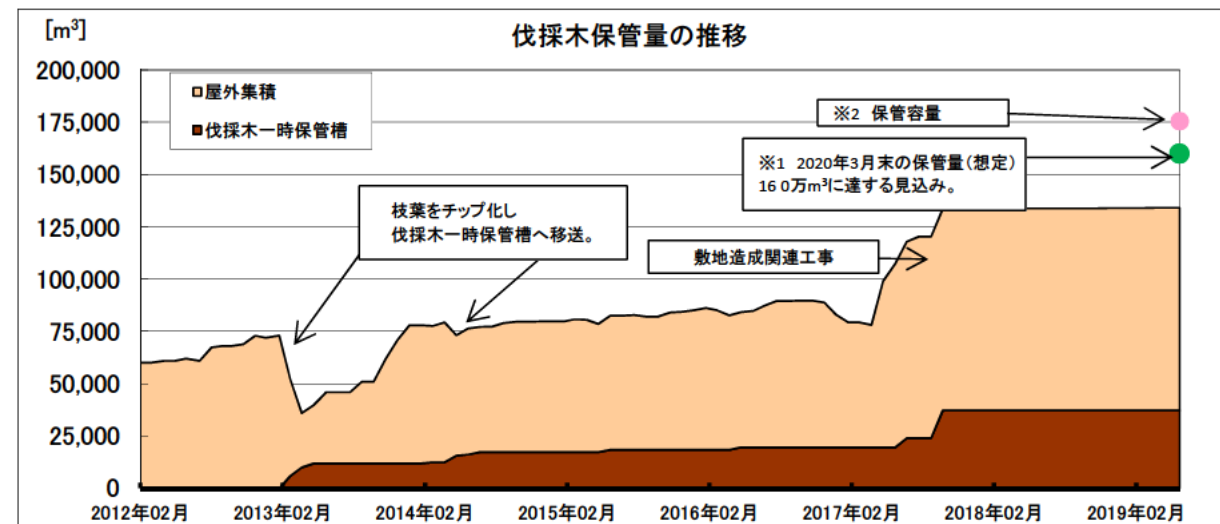
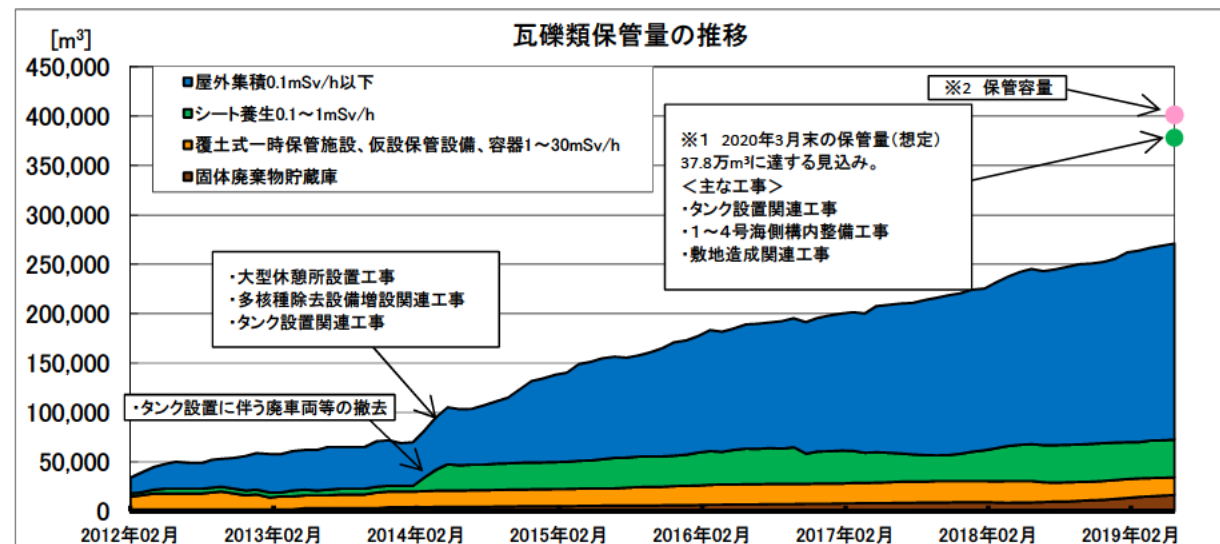
分類	保管場所	種類	保管量		前回集約からの増減 ^{※1} (2019.5.2 - 2019.6.6)		保管量／保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル		775	本	0	本	4393 / 6372 (69%)	・ 吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・ 使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル		218	本	+2	本		
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,629 ^{※1}	基	+12	基		
			増設	1,480 ^{※2}	基	+17	基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74	本	0	本		
		多核種除去設備処理カラム	既設	11	塔	0	塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		206	本	0	本		
	廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597	m ³	0	m ³	597 / 700 (85%)	・ 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・ 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,364	m ³	+12	m ³	9364 / 10300 (91%)	・ タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・ 水位計0%以上の保管量：9264 [m] タンク底部～水位計の保管量(DSI)：約100[m]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,629基 【誤】1,612基 (2020.3.4)

※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,480基 【誤】1,497基 (2020.3.4)



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.5.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.6.6時点)

